



Special Olympics
Nippon
Kumamoto

QSK NEWS LETTER

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・熊本

らぼーる

2013年
9月号

7月16日(火)熊本市国際交流会館にて、潮谷理事長のよびかけでこれからのSON・熊本についていろいろな方からの意見を聞く会「SON・熊本のこれからの考える懇談会」が開かれました。それを受けて事務局長にお話を伺いました。

「何のために」「何ができるか」

SON・熊本 事務局長 本田 禎治

このところ、「何のために」「何ができるか」ということを考えています。SOは何のために、だれのために、何を目標にしているのか。自分はそのために何ができるのか。各ブランチでは年間を通して、多くのスポーツトレーニングプログラムが実施され、アスリートやボランティアが参加しています。地区大会やSOデーなど各種イベントも多彩に展開されています。設立20周年記念の全国水泳競技大会もたくさんのアスリートやボランティアの参加で盛り上がりました。20年前のスタート時に比べると、大きく成長し、発展しています。ただ、SOはさらなる成長、発展を求めています。より多くのアスリートを、ボランティアを、スポーツプログラムを、と。もっと多くの人が参加し、地域社会の中でSOが身近になることで、SOの最終目標である「アスリートが普通に当たり前暮らしていける社会」の実現に近づくからです。

20周年記念大会は、SOをより広く強くアピールする大会でした。7月に急ぎよ開いた懇談会は、あらためてSOの使命、目的を確認するものでした。SOの一層の発展、成長を考える「組織委員会」(委員長・潮谷理事長)も発足しました。

「楽しく面白く、できるしこ」ではあるけれど、「何のために」「何ができるか」をもっと考えていきたいと思っています。

□SON・熊本の定款によると、SOの事業は「日常のトレーニングプログラム及びその成果の発表の場としての競技会を提供すること」。その事業の目的は、アスリートにとっては「価値ある一市民としての自立への意欲を助長する」、家族や地域社会にとっては「互いの絆を深める」、市民ボランティアにとっては「知的障がいのある人たちにとってよりよい社会の実現に寄与すること」であり、目的達成のために「担当地区全域にその事業を拡大する」としています。

懇談会参加者の声

参加者のみなさんが、SOのことを真剣に考えておられることにびっくりしました。また、人吉ファミリーの方のブランチを立ち上げたいという熱い想いに感動しました。

(熊本ファミリー T.N)

5月の全国水泳大会からSO活動に関わっていらっしゃる方々の発言には活動を広める、深めることの面白い発想もあり、SO活動の現状を知る良い機会ともなりました。小さなことでも思いだけでとどめず、行動におこそうとする心の種をあらためてまくことができたように感じた会合でした。(体操コーチ 大塚 淳子)



広告

Inner Spa
VOR
Supplement
ナチュラルTETSU ミネラル



60粒入
(約2ヶ月分)
5,800円

「新しい鉄サプリ」

食事で不足がちな鉄分を補給!

<http://www.limonite.co.jp>



株式会社 日本リモナイト
JAPAN LIMONITE Co.,Ltd.

【熊本営業所】熊本県熊本市龍田3丁目32-18

0120-122-976

TEL 096-374-7701
FAX 096-374-7705